
ハンブティ ダンプティ、

みさ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハンプティ ダンプティ、

【Nコード】

N1650Y

【作者名】

みさ

【あらすじ】

東京の上空に存在する国がある——通称・『まほつの国』。
彼らの騒乱にやがて東京の人々も巻き込まれ……

プロローグ（前書き）

はじめまして、みさです。

このページに来てくれただけで感謝ものです！！
とても見せ物にできるような文ではないですが、
暇つぶし程度にどうぞ。

プロローグ

どうしてだろう——……

どこの国も

どこの星も

いつの時代だって

同じ事をくり返す。

犠牲しか生まない戦争、内乱、紛争

私は、嫌というほど見てきた……

だから、慣れてしまった。

心臓を揺らす爆音も、女子供の悲痛な叫びも。

こわかった。

いつか……いつか、私の心も喰われてしまいそうです。

戦争という名の怪物に、私の心を取られてしまいそうです——……

だれか、教えてください。

争いから一体何が生まれるというのか。

わたしは、その答えをまだ知らない。

深く深く、下へ堕ちながら

わたしは人の心理を思っていた——

1 降ってきた少女（前書き）

やっと更新できましたー

1・降ってきた少女

ドッシャーンー！

僕は、いたって普通のなんの取り得もない、ごくごく普通の中学生で、ほんつとに普通の暮らしをしていて、普通の……うわ、普通って言い過ぎてなんかややこしいや……まあとりあえず、とつぜん自分の部屋の窓ガラスが割れて女の子が入ってくるような……そんな漫画みたいな特別な存在ではない。はずだったのに……

現在、僕の部屋には女の子がいる。部屋の窓ガラスを割って。

そう、少女が僕の部屋の窓ガラスを割って入ってきたのだ。

ちなみに、僕の部屋は2階。窓は太陽の光がよく入るように斜めに設置されていて、その少女はどう考えても、上から降ってきたとしか考えられないのだった。

栗色のストレートヘアは腰のあたりまで、小顔なわりに大きな瞳が目立つ。

背は小さく、可愛い妹という印象の少女だった。

だが、そんな印象を感じたのは実際はもつと後のことで、現在の状況では『窓を突き破ってきた』という事実インパクトがありすぎて、他の事に思考が回らなかった。

「あ、あの……」

やっこの思いで発せた問いかけ。

少女は、多少みだれた髪をかけ上げ、澄んだ声で一言。

「……………だれ？」

こっちの台詞ですけど!?

てかホント誰だー?この子。

そもそも何が目的?

強盗?空き巣?

いや、それはないか。こんな可愛いらしい子が犯罪なんて……い

やいや、このご時世、顔とか年齢とか関係ないか……

いやいやいや、だとしても、こんなハデに侵入しちゃう駄目だろー
し……

一体、何が目的なんだ？

………はっ！

まさか……まさか、多額の報酬で雇われた闇の殺し屋、とか……
！？

いやいやいやいや、それはない！ないよな、だって僕まだ14だよ？

人に恨みを買うようなことした覚えはないし……

って!!

完全に冷静じゃなくなってるじゃん、僕……

大丈夫だ、落ち着け僕、大丈夫、目の前にいるのはただの女の子、
ただの少女、……でも普通の少女なら窓割って入ってきたりしない
よなあ……

ええっと、なんて言っただけ？今の僕……

……あ、そうだ、『混乱』だ

混乱、してるんだな——僕。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1650y/>

ハンプティ ダンプティ、

2011年11月16日04時46分発行